

10 景 観

(1) 調 査

1) 調査内容

供用後の施設の存在に伴う景観への影響を予測・評価するための調査内容は、以下に示すとおりである。

景観に係る現地調査の内容は表 4.10-1 に、現地調査地点の一覧は表 4.10-2 に示すとおりである。また、現地調査地点は図 4.10-1 に示すとおりである。

① 主要な眺望景観

眺望の構成要素状況（遠景、中景、近景ごと工作物、森林、草地、水面、空等の比率）

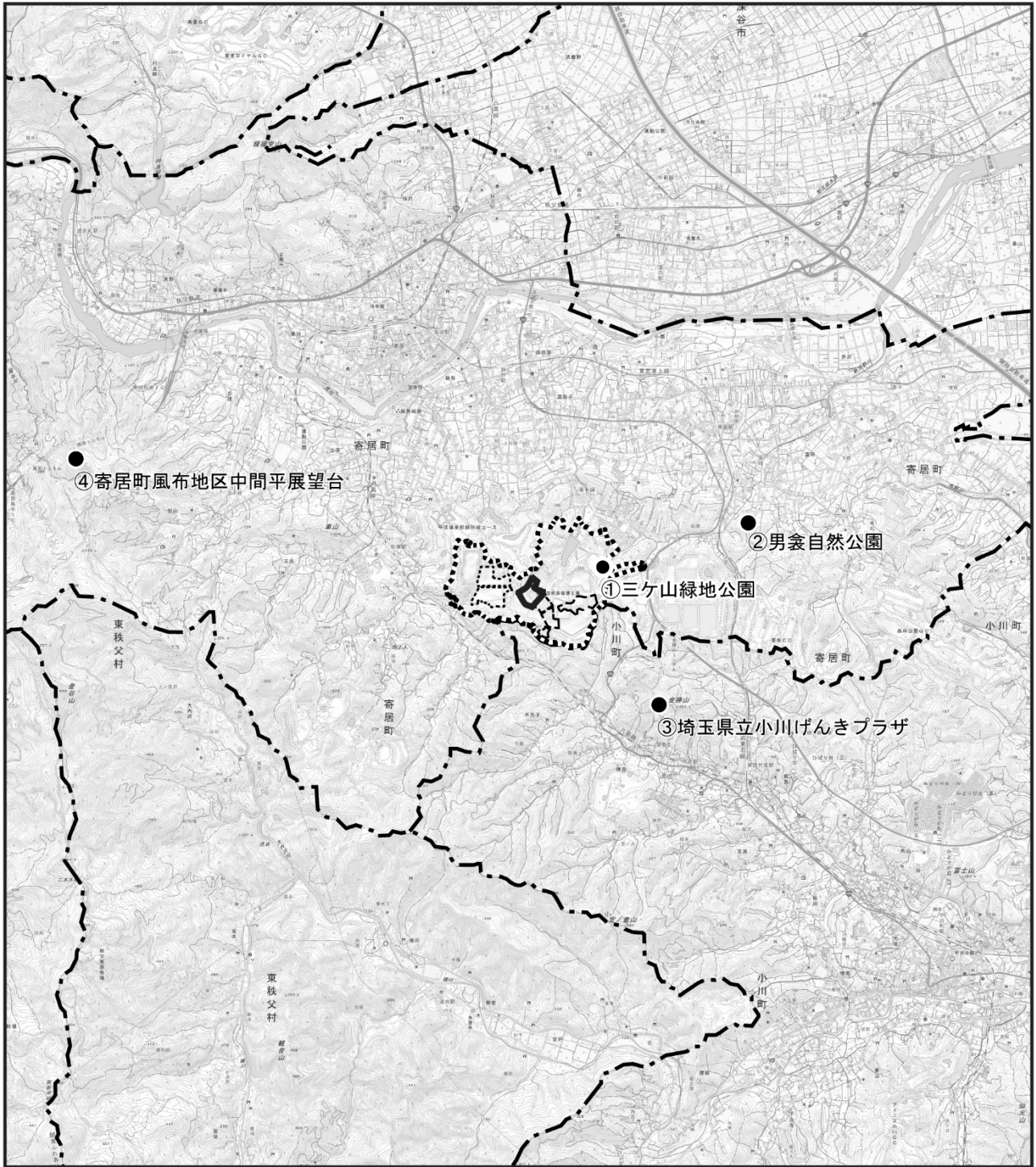
表 4.10-1 現地調査の内容

調査内容	調査方法	調査地域・地点	調査期間・頻度
主要な眺望景観	現地調査により、主要な眺望地点から景観写真の撮影を行うとともに、計画地の見え方を把握する。	調査地域は、計画地より 3 km 程度の範囲を目安とする。 調査地点は、来訪者や地域住民が利用する主要な眺望地点のうち、眺望地点の重要度や眺望の特性を踏まえ、計画地周辺 4 地点とする。	4 季各 1 回

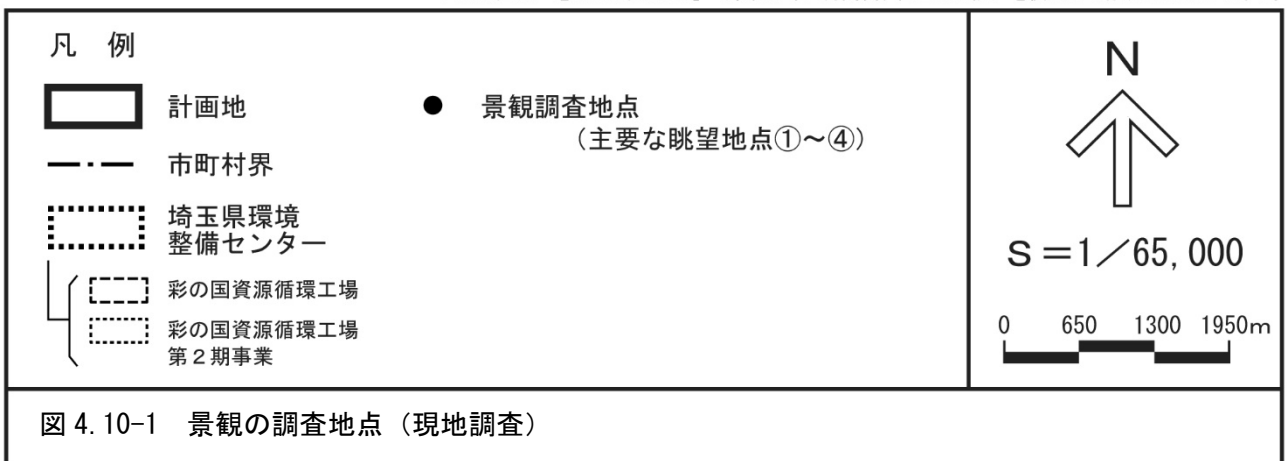
表 4.10-2 現地調査地点の一覧

調査内容	調査地点名		選定理由
主要な眺望景観	①	三ヶ山緑地公園	陸上競技用 400mトラック、全面芝生張りの多目的広場のほか、寄居町が一望できる展望台「風のとりで」、円形広場、ちびっこ広場、あずまや等が配置されている公園であり、不特定多数の人々が訪れる場所である。計画地を視認できる地点であることから選定する。
	②	男衾自然公園	標高約 171 メートルの里山に、遊歩道や山頂展望場所などが整備されている公園であり、不特定多数が訪れる場所である。山頂展望場所があり、計画地を視認できる地点であることから選定する。
	③	埼玉県立小川げんきプラザ	金勝山（263m）の山頂を中心にした広い敷地内に、宿泊施設やプラネタリウム館、野外活動施設等があり、不特定多数の人々が訪れる場所である。展望台があり、計画地を視認できる地点であることから選定する。
	④	寄居町風布地区中間平展望台	長瀨玉淀県立自然公園内に位置し、寄居町西部にある関東平野を一望できる展望台であり、不特定多数の人々が訪れる場所である。計画地を視認できる地点であることから選定する。

注) 計画地が位置する埼玉県環境整備センターの周囲は丘陵地の尾根や樹林に囲まれており、周辺から計画地を眺望できる場所は高台等に限定されている。



この地図は「電子地形図25000」（令和2年2月調製、国土地理院）を使用して作成したものである。



(2) 予 測

1) 予測内容

供用後の施設の存在による景観への影響を予測するための内容は、表 4.10-3 に示すとおりである。

表 4.10-3 予測の内容

予測内容	予測方法	予測地域・地点	予測対象時期
施設の存在に伴う景観への影響	フォトモンタージュを作成し、現地調査で撮影した写真と比較することにより、定性的に予測を行う。	現地調査地域及び現地調査地点と同様とする。	計画施設の完成後（計画施設増設工事の完了後）とする。

(3) 評 価

1) 評価方法

景観への影響が事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、または低減されているかどうかを明らかにするとともに、国、県又は市町村の景観の保全に係る計画、指針等により定めた基準、目標等と予測結果との間に整合が図られているかどうかを明らかにする。

2) 環境の保全に関する配慮方針

景観に係る環境の保全に関する配慮方針は、表 4.10-4 に示すとおりである。

表 4.10-4 環境の保全に関する配慮方針

区分	環境の保全に関する配慮方針
施設の存在に伴う景観への影響	<ul style="list-style-type: none">・周囲の環境と調和する色彩を採用する。・圧迫感を与えない施設の形状及び配置計画に努める。